

平成 22 年度東京国立博物館インターンシップ募集要項

東京国立博物館では将来の博物館学芸員を目指す学生の学習意欲の喚起、高い職業意識の育成を目的として、インターンシップ（就労体験プログラム）を実施します。

1. 日程

平成 22 年 7 月 22 日～平成 23 年 3 月 31 日の間の 30 日間以内。実施日、実施日数などの詳細は受入部署により異なります。

活動日は、原則として平日の 10 時～17 時とします。

2. 対象

原則として、芸術学、美術史学、考古学、歴史学、博物館学、教育学、情報学、保存科学、展示デザイン等を専攻する大学院修士課程・博士課程の正規課程に在学中の学生。

*日本語を母国語としない場合、日本語での専門知識を有し、日本語による通常業務に支障がないこと。

3. 受入部署内容及び受入条件

別紙「受入部署及び受入条件」を参照のこと

4. 募集人数：合計 40 名程度（ただし該当者がいない場合は、受入を行わないこともあります）

5. 応募方法

(1)添付の応募用紙（指導教官による推薦記入欄があります。指導教官に記入をしてもらって下さい）を下記宛先に送付してください。

(2)希望部署は一部署のみ選択してください。

(3)提出書類は返却いたしません。

- (4)締切
- | | | |
|-------|----------------------|------|
| 第 1 回 | 平成 22 年 6 月 22 日（火） | （必着） |
| 第 2 回 | 平成 22 年 8 月 10 日（火） | （必着） |
| 第 3 回 | 平成 22 年 9 月 28 日（火） | （必着） |
| 第 4 回 | 平成 22 年 11 月 16 日（火） | （必着） |

*各締切回ごとに、選考をいたします。ただし、部署の都合により、途中で募集を締切ることがあります。

(5)宛先：〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 東京国立博物館教育普及室インターンシップ募集係

6. 選考方法

(1)応募書類による 1 次選考

(2) 1 次選考を通過した方々に対する面接による 2 次選考（応募締め切りの約 2 週間後）

結果は文書にて連絡します。

7. オリエンテーション

当館の概要や活動の説明を中心にオリエンテーションを行います。必ずインターン活動開始前に、下記のいずれかの日程で参加してください。

7 月 22 日（木）、9 月 8 日（水）、10 月 27 日（水）、12 月 15 日（水） 午前 10 時～午後 5 時 00 分

8. 必要経費

(1)必要な経費（交通費、食費、保険料等）については、各自でご負担ください。

(2)採用が決定した場合、各自傷害・賠償保険に加入することを条件とします。所属大学、学生生協、または、各保険会社にお問い合わせください。

9. 修了証：規定の日数を修了した学生には、3 月 31 日以降、ご本人宛に修了証を発行します。

10. 問い合わせ先

東京国立博物館教育普及室 伊藤・鈴木 TEL03-3822-1111(代表) FAX(03)3822-3010

平成 22 年度 東京国立博物館インターンシップ 受入部署および受入条件

○学芸企画部企画課 デザイン室

定 員：各応募期間 1 名程度

業務内容：特別展・平常展のディスプレイや看板、館内サインなどのデザイン・作成の作業補佐

受入条件：建築、環境デザイン等を学び、博物館の作品と展示に興味関心があること。

CAD、画像処理、文書ソフト、表計算などパソコン経験者、または模型制作の経験がある者が望ましい。学部 4 年生以上であること。

活動期間：平成 22 年 7 月 22 日～平成 23 年 3 月の期間で、のべ 30 日間

○学芸企画部博物館教育課 教育普及室

定 員：各応募期間 1 名程度

業務内容：教育普及プログラムの補佐、学校向けプログラム、所蔵作品に関する鑑賞プログラムの実施及び開発補佐等、教育普及事業の実務補佐

受入条件：博物館での教育普及に関する知識あるいは経験を持ち、当館の所蔵作品に関心があること。

活動期間：平成 22 年 7 月 22 日～平成 23 年 3 月の期間で、のべ 30 日間

○学芸企画部博物館教育課 ボランティア室

定 員：第 1 回～第 3 回の応募期間、各 1 名程度

業務内容：ボランティア・コーディネーション補佐、ボランティアによる教育普及事業の記録・評価などの実務補佐

受入条件：博物館におけるボランティア・コーディネーションに関する関心、知識あるいは経験を持っていること、かつ当館の所蔵作品に関心があること

活動期間：平成 22 年 7 月 22 日～平成 22 年 12 月の期間で、のべ 30 日間

○学芸企画部 広報室

定 員：各応募期間 1 名

業務内容：広報業務全般の補助

受入条件：美術史、歴史学、考古学、博物館学等を学び、博物館の広報業務に興味関心があること。当館の展示・催しに興味関心があること。文書作成、画像処理、表計算などパソコン経験者。学部 4 年生以上であること。

活動期間：平成 22 年 7 月 22 日～平成 23 年 3 月の期間で、20 日間～30 日間

○学芸企画部情報資料室

定 員：各応募期間 1 名～2 名

業務内容：展覧会カタログの論文データ入力など図書目録・索引作成に関わる業務の補佐

受入条件：美術史、歴史学、考古学、博物館学等を学び、美術図書室業務に関心がある方。

ワード、エクセルなどの文書ソフト、表計算、データベースソフトなどパソコンに習熟していることが望ましい。

活動期間：平成 22 年 7 月 22 日～平成 23 年 3 月の期間で、のべ 30 日間

○学芸研究部列品管理課 平常展調整室

1、2の二種類のインターンシップを募集します。

1. 定員：1名

業務内容：陳列案データ入力作業補助（主として日本考古）

受入条件：パソコンの取り扱い（データ入力作業）ができること、考古学の知識がある者が望ましい。

活動期間：平成22年8月31日～12月 のべ30日間以内

2. 定員：2名

業務内容：陳列案作成作業補助（全ジャンル）

受入条件：パソコンの取り扱い（データ入力作業）ができること、日本、東洋の美術考古 についての知識がある者が望ましい。

活動期間：平成22年12月～平成23年3月 のべ30日間以内

○学芸研究部調査研究課 東洋室

定員：7月～3月 3ヵ月ごとに1名

業務内容：当館所蔵の東洋（インド・中国・朝鮮・東南アジアほか）で制作された作品に関する資料整理作業の補助

受入条件：アジアの美術史学・考古学・文化人類学を学び、博物館における学芸職員の業務に関心があること。

活動期間：①平成22年7月22日～9月30日の期間で20～30日間

②平成22年10月1日～12月28日の期間で20～30日間

③平成23年1月4日～3月30日の期間で20～30日間

○学芸研究部保存修復課

定員：3名まで

業務内容：診断、予防、修理など臨床保存学の現場体験

受入条件：大学院にて文化財に関する保存科学、保存修理などを履修し、専門家を目指している学生が望ましい

活動期間：平成23年2月14日～2月25日、日数とも相談

○上席研究員(日本工芸)

定員：1名

業務内容：作品に関する研究、展示、資料整理などの業務の補助

受入条件：日本工芸の研究、展示などについて学びたいと思う方

活動期間：平成22年9月から平成23年3月までの間、日数については相談

平成 22 年度東京国立博物館インターンシップ応募用紙

ふりがな 氏 名			写真貼付欄 4×3cm 本人単身 胸から上の写真
所 属	大学・大学院 研究科 専攻 修士 ・ 博士 年		
生年月日	昭和 年 月 日 (満 歳)	男 ・ 女	
現住所	〒 電話番号 FAX (携帯) e-mail アドレス： (常時連絡のつくもの・博物館から連絡をする場合があります)		
指導教官	氏名 連絡先 電話番号		
	推薦理由		
健康状況	良好 普通 その他 (理由)		

インターンシップ希望部署 (○をつけてください)

デザイン室	教育普及室	ボランティア室	広報室
情報資料室	平常展調整室 1	平常展調整室 2	東洋室
保存修復課	上席研究員(日本工芸)		

インターンシップ希望日程・期間

____月 ____日 ~ ____月 ____日 ・週 ____日 週間勤務、計 ____日間

*7月22日~3月31日までの期間、原則、土・日・祝を含めないでください

志望理由を記入してください

希望分野に関連するインターンシップ、ボランティア、クラブ活動、職業経験等もお書きください。